

TOYO ELECTRIC CORPORATION



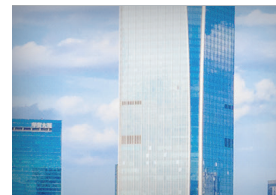
電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

第 84 期 報 告 書

2022年4月1日から
2023年3月31日まで



CONTENTS

1 トップインタビュー
近道も回り道もない。
本気で変化を引き寄せよう。

- | | |
|------------|--------------|
| 4 特集 | 9 社員インタビュー |
| 5 セグメント別概況 | 10 会社概要／株式状況 |
| 7 連結決算概要 | |

東洋電機株式会社
TOYO ELECTRIC CORPORATION

近道も回り道もない。 本気で変化を 引き寄せよう。

株主の皆様には日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

第84期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)を終了しましたので、ここに謹んでご報告をさせていただきます。

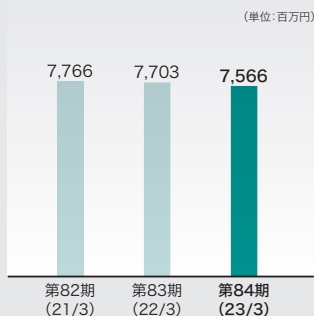
株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 **松尾 昇光**

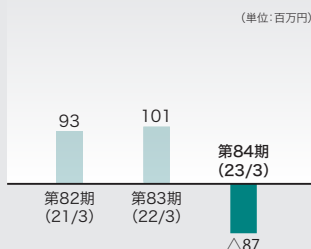


連結決算ハイライト

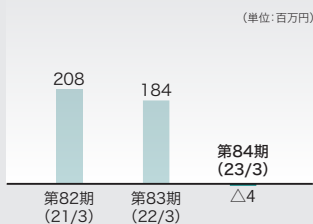
■ 売上高



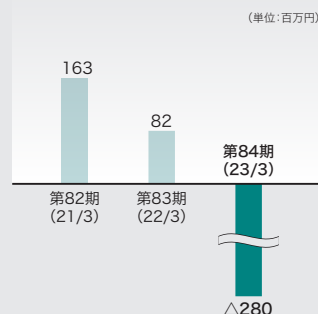
■ 営業利益



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



Q 1 コロナ後に向けた動きが加速しています。東洋電機にとってどのような1年でしたか。

この間、当社を取り巻く外部環境は大きな変化に見舞われています。当社だけでそれを変えることは到底できません。ただ、東洋電機グループという内部環境なら努力次第で変えられるという思いで、この1年は社内の対策に集中しました。

まずは営業の強化です。リモート営業の推進とともに、お客様の情報を可視化するMA(マーケティングオートメーション)ツールを活用した営業スタイルの導入を進めました。さらにDX(デジタルトランスフォーメーション)を意識した業務効率化に向けた改善を進め、コアとなる技術製品の競争力の強化や次世代に繋がる技術開発、SDGs(持続可能な開発目標)を意識した取り組みを推進しました。

納期に支障をもたらした部品調達難に対処するため、設計変更による代替部材への対応のほか、複数サプライヤーから購買を行うなど供給網の最適化を進めました。懸案の販売価格の見直しについては、徐々にお客様の理解も進みつつあります。下期に入ってから、わずかながら明るい兆しも見えてきました。

Q 2 国内は事業部門によって業績の明暗が分かっているようですが……。

国内の制御装置関連3事業においては、機器部門と変圧器部門が増収となりました。機器部門は産業設備の需要が回復基調となり、エレベータセンサ、空間光伝送装置、表示器とも伸びし、利益面でも目標を達成しました。変圧器部門は、データセンター向けのほか、太陽光発電パネル向けが堅調で、2ケタの伸びとなりました。エンジニアリング部門は当期も伸び悩んでいます。なかでも搬送制御装置分野は物流業界の需要はあるものの価格競争が一層厳しくなっています。当社のパートナー企業の事業方針の見直しもあり、大幅に減少しました。監視制御装置分野、配電盤分野も前期を下回っています。エンジニアリング部門の不振により、国内制御装置関連事業は減収減益となりました。

目下の課題は、販売価格の適正化を含む原価率の抑制です。部材・部品の高騰分を販売価格に反映いただけるようお客様との交渉を急ぐとともに、内部の生産性向上を意識した業務改善活動を継続的に行い、間接経費の更なる削減に努めます。

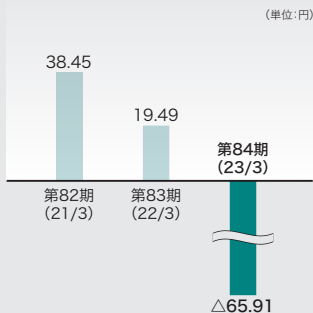
Q 3 コロナ禍の影響は海外にも及びました。その後、海外事業の進捗はいかがでしょうか。

中国とタイの2社からなる海外制御装置関連事業は増収となりました。まず、中国の南京華洋電気有限公司ですが、中国国内のロックダウンが解除され、経済活動も動き始めました。設備投資の需要は順調に増加しており、配電盤の受注が増えています。ただ、エレベータセンサは転換期にある不動産業界の影響を受け、売掛金の回収が課題となっています。今後は中国においても空間光伝送装置の生産を考えています。

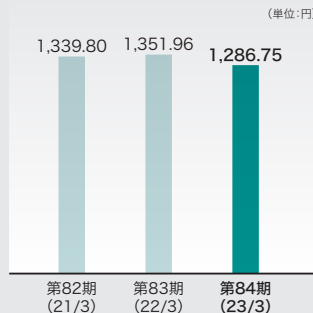
タイのThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、堅調に推移しています。こちらはエレベータ関連製品のみで生産余力もあるため、好調な変圧器事業の支援で、小型変圧器の巻き線作業を行うことも



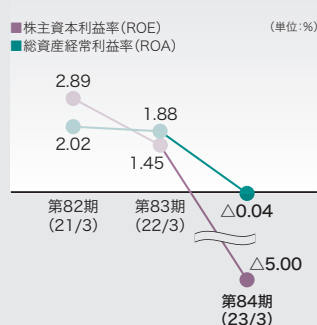
■ 1株当たり当期純利益



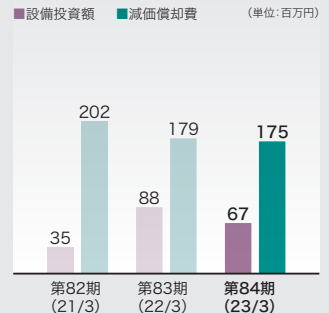
■ 1株当たり純資産額(BPS)



■ 株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)



■ 設備投資額/減価償却費





検討しています。なお、どちらも売上げは伸びたものの、原材料の高騰の影響と円安による為替差損が生じています。

Q 4 「第一次中期3年経営計画」を策定するなど業績へのテコ入れを急いでいますが、「復活」の道筋は描けそうですか。

これまでも3年計画を策定し、毎年ローリングしてきました。しかし、コロナ禍により大幅減収となった状況を受け、これまで経営指標として重視してきた売上高、経常利益、総資産経常利益率から、本業の利益である営業利益と営業利益率を重視する経営へと転換を図り、前期より「第一次中期3年経営計画」を策定するに至りました。

ところがコロナ禍が長期化するとともに、ロシアによるウクライナ侵攻とその後の急激な円安に端を発したエネルギー価格や原材料の高騰が止まりません。部材・部品の価格高騰に加え、調達そのものにも影響が出て、受注ができて納品ができない苦しい状況が続きました。これでは当初計画した数値目標の達成は困難と判断し、数字の見直しを進めているところです。

現在、当社は、営業体制と技術開発の2本柱で強化を進め、お客様への提案による営業活動の強化に努めていますが、長年にわたって引きずってきた「下請け体質」から抜け出せずにいます。

お客様と直接接触して仕事を取ってくるには、

魅力ある製品構成も一段と重要になっています。一度、製品構成についても「断捨離」を行う必要があると考えています。3割ほどの製品は見直しを進め、新たな付加価値を付けなければと考えています。

これまで当社の事業部では、「1業種1客先」という商慣習に縛られ、新しいお客様との接触すら控えてきました。こうした営業手法も見直していきます。

Q 5 目先の改善だけでなく、企業の存在意義そのものも再点検し、時代にふさわしい変革が求められているのでは……。

おっしゃるとおりです。東洋電機は戦後の1947年に誕生し、設立から75年を超えました。この間、わが国経済は右肩上がりで成長し、当社もその流れに乗って事業を拡大してきましたが、現在の社会情勢を見ると、少子高齢化が進み労働人口も減少に向かっていきます。

コロナ禍による大きな停滞を経験して、私自身は事業のあり方だけでなく、その存在意義すらも見直すべき時期に来ていると思っています。本気で改革するならば、体力が残っている今しかありません。

これまで東洋電機はよい品質の製品をつくれれば売れるという信念でビジネスを行ってきました。もう、それだけでは不十分です。お客様のニー

ズにもっと寄り添ってモノづくりを行う、「マーケットイン」の姿勢が強く求められています。

Q 6 どのようにして社内を取りまとめ、未来に繋がる東洋電機像を打ち立てていきますか。

今、当社はグループを含む全部門・全従業員を統合するエンジンとしてSDGsが掲げる17の目標から7つに絞って取り組みを進めています。SDGsが掲げる社会課題と当社の経営課題を結び付けて、未来にも通用する新しい東洋電機の姿を実現したいと考えています。

例えば、当期の動きを振り返ると、変圧器部門の好調の背景には、社会のデジタル化によるデータセンターの需要増、脱炭素社会の実現に向けた太陽光パネルの設置需要があります。これらの需要そのものもSDGsが掲げる社会課題に合致していますが、仕事量が増える変圧器部門においても、残業などへの対応、新たな雇用と人材教育、従業員の健康管理とワークライフバランスへの対応が求められます。また、お客様のニーズに応えるにはイノベーションに向けた設備投資や研究開発投資も欠かせません。

これらはSDGsの目標でいうと、目標7の「エネルギー」、目標8の「経済成長と雇用」、目標9の「インフラ、産業化、イノベーション」などの課題と合致するだけでなく、目標3の「健康」や目標4の「教育」などの課題としっかり向き合うことを意味しています。

SDGsを単なるきれいな事にとらえる向きもありますが、SDGsには私たちの社会が抱える解決すべき課題が凝縮されており、これらの課題と真正面から向き合うことで、当社の存在意義や社会的役割が明確になると考えています。

SDGsが目指すのは「持続可能な社会の実現」です。この枠組みをとおして、文字どおり社会に役立つ東洋電機を実現していきます。

株主の皆様には多大なご心配をお掛けしていますが、今の苦境を跳ね返し、皆様のご期待に応えていく決意です。

グループ会社の紹介

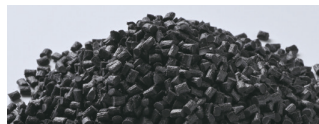


今回は当社グループの「東洋樹脂株式会社」をご紹介します。同社は、当社東洋電機の樹脂事業部として立ち上がり、1970年（昭和45年）に独立、東洋樹脂株式会社を設立し、当社グループ会社の一員となりました。その後、1982年（昭和57年）に工場を愛知県小牧市に移転し今日に至っています。事業内容は、創業の基であるリサイクル事業、配合コンパウンド事業、冷凍粉碎事業を3つの柱として事業展開を行っています。地球温暖化に伴う自然環境の変化や社会における価値観が変化中、地球環境にとって安全で高品質な製品づくりをお約束するとともに、安全で安心な労働環境にも配慮しつつ、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

会社概要

会社名／東洋樹脂株式会社
 (TOYOJYUSHI CORPORATION)
 所在地／〒485-0805 愛知県小牧市林字野原450番地
 設立／1970年(昭和45年)
 資本金／1億9,600万円
 代表者／代表取締役社長 松尾太起
 U R L／<https://www.toy-jc.co.jp>

リサイクル事業(自社リサイクルナイロン製品販売)



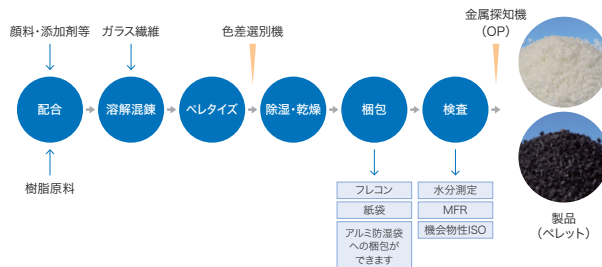
原材料の回収有償購入を行い、リサイクルナイロンペレットの生産・販売を行っています。

自社ブランドのリサイクル(再生)樹脂製品の製造・販売

再生ペレットの受託加工 (エンブラ・スーパーエンブラ・汎用樹脂等)

配合コンパウンド事業(コンパウンド受託加工)

主にナイロン樹脂を中心にエンジニアリングプラスチック樹脂のコンパウンド受託加工を行っています。お客様のニーズにあわせた樹脂コンパウンド製品の試作から量産まで対応しています。



冷凍粉碎事業



液体窒素を利用した冷凍粉碎加工設備によって樹脂を粉末化したパウダー製品の受託生産を行っています。

1

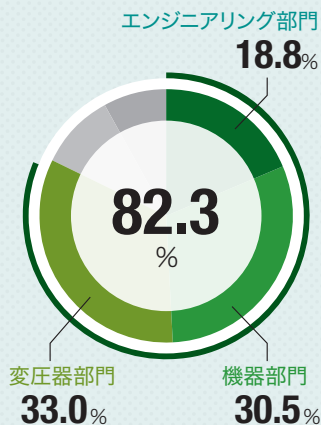
国内制御装置関連事業

売上高 **6,227** 百万円
前年同期比 **1.6%**減

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしております。当事業は3部門から構成されており、その内、機器部門と変圧器部門が増収となりましたが、エンジニアリング部門で減収となり、売上高は6,227百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

(注)2020年10月1日付の会社組織の一部変更により、デバイスソリューション部門をエンジニアリング部門および機器部門へ統合しました。これに伴い、組織の変更が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、各部門の前年同期比を記載しております。

【構成比】



エンジニアリング部門

売上高 **1,426** 百万円 前年同期比 **29.8%**減

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御装置分野は主力取引先の事業方針の見直しにより、大幅に減少しました。監視制御装置分野、配電盤分野においても未だに続く部品調達の影響により減少し、1,426百万円(前年同期比29.8%減)となりました。

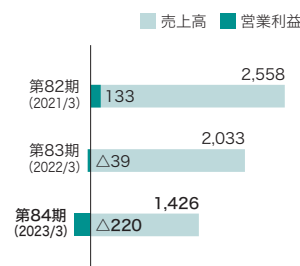
【主要製品】

- ▶ オンデマンドフォーム印刷機電装品
- ▶ インテリジェント多機能リレー(IPR)
- ▶ 宛名紙印刷搭載機



宛名紙印刷搭載機

【売上高・営業利益推移】(単位:百万円)



機器部門

売上高 **2,306** 百万円 前年同期比 **9.8%**増

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、産業設備の需要が回復基調となったことにより、センサ分野、空間光伝送装置分野、表示器分野の全分野の売上が増加し、2,306百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

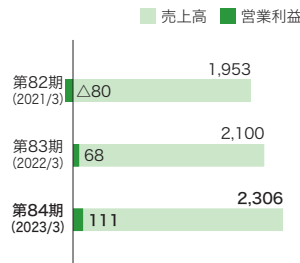
【主要製品】

- ▶ 空間光伝送装置
- ▶ エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

【売上高・営業利益推移】(単位:百万円)



変圧器部門

売上高 **2,494** 百万円 前年同期比 **13.6%**増

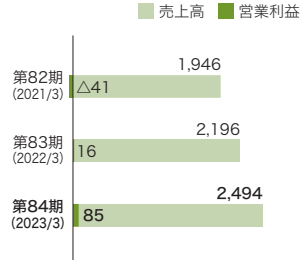
変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、DXの促進によるインフラ整備などでデータセンター向けや再生可能エネルギー関連の設備投資の需要増により、2,494百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

【主要製品】

- ▶ 乾式変圧器
- ▶ モールド変圧器
- ▶ 耐雷変圧器
- ▶ 始動リアクトル

乾式変圧器
TKH4シリーズ

【売上高・営業利益推移】(単位:百万円)



2

海外制御装置関連事業

売上高 **749** 百万円

前年同期比 **14.7%** 増

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向けの盤関連製品の製造販売や中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。当事業は、ロックダウンも解除され設備投資の需要が増加したことにより、749百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

【主要製品】

- ▶ 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
 - ・高圧受配電盤
 - ・コントロールセンタ
 - ・PLC応用制御盤

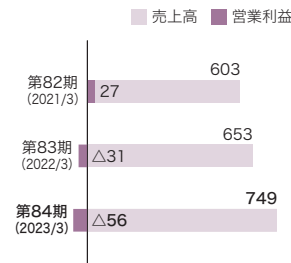
C型コントロールセンタ



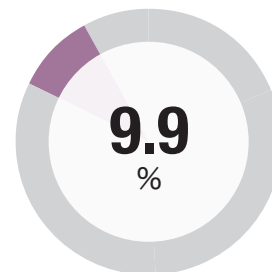
- ▶ エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
 - ・マルチビームセンサ
 - ・かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

【売上高・営業利益推移】(単位:百万円)



【構成比】



3

樹脂関連事業

売上高 **589** 百万円

前年同期比 **18.0%** 減

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、半導体等部材不足にあった自動車産業の影響が大きくなり、589百万円(前年同期比18.0%減)となりました。

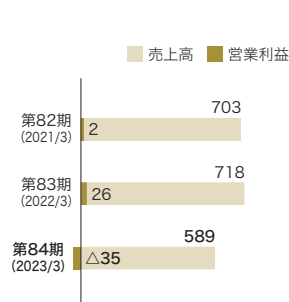
【主要製品】

- ▶ 廃プラスチックのリサイクル
- ▶ リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- ▶ プラスチックのコンパウンド受託加工
- ▶ 樹脂パウダーの生産

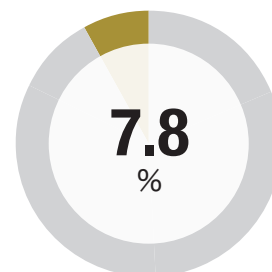


樹脂ペレット

【売上高・営業利益推移】(単位:百万円)

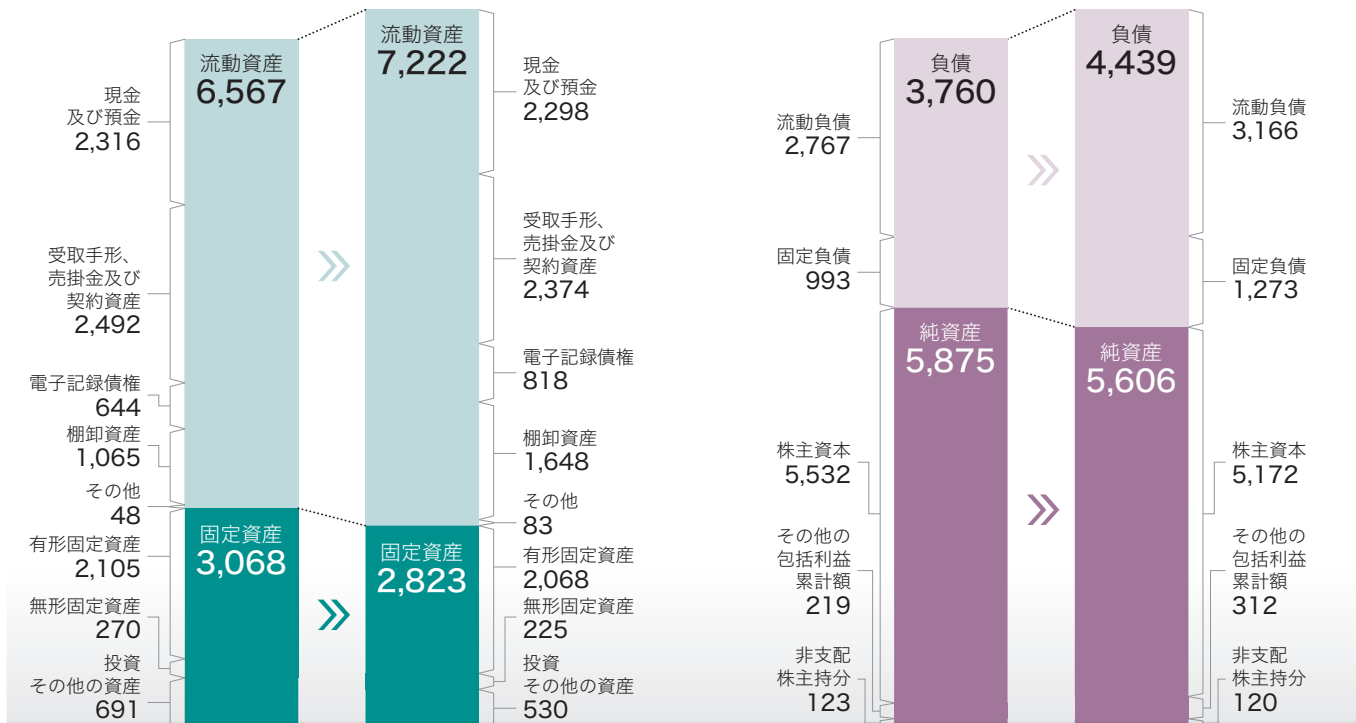


【構成比】



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

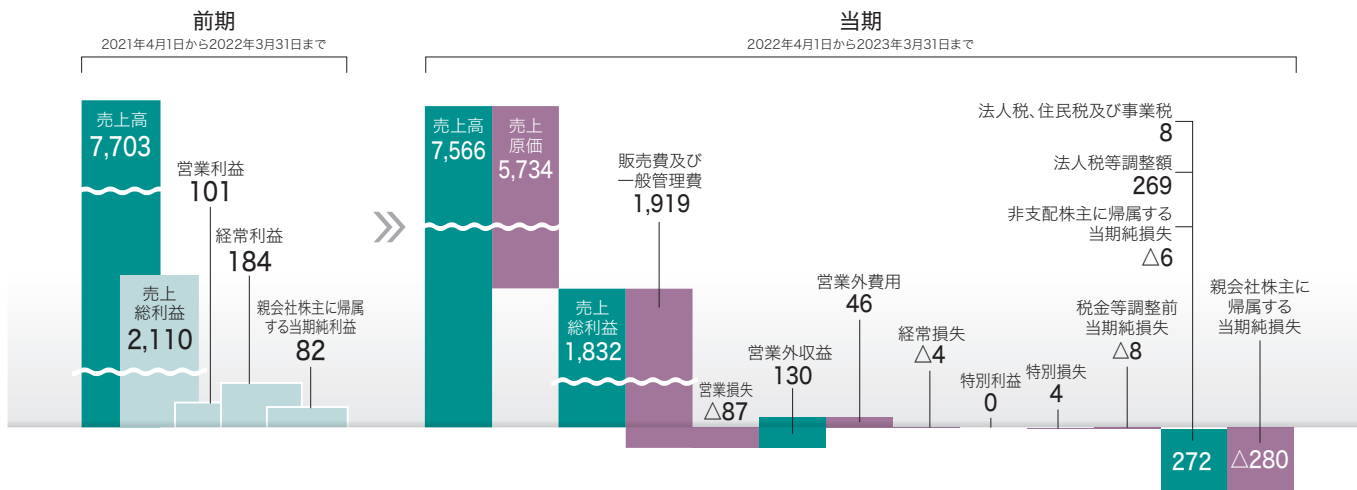


POINT

総資産は電子記録債権や棚卸資産の増加などにより前期末比410百万円増加し、負債は短期借入金や長期借入金が増加したことなどにより前期末比679百万円増加しました。なお、純資産は利益剰余金の減少などにより前期末比268百万円減少しました。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

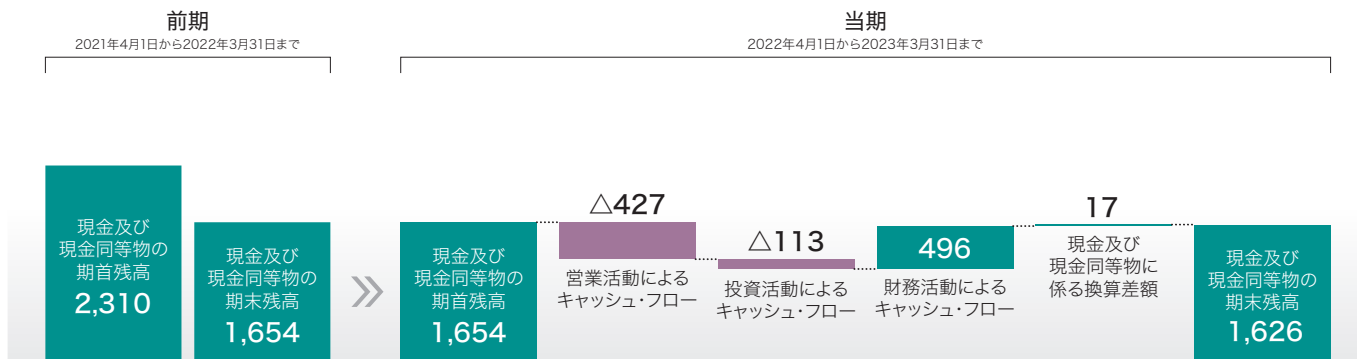


POINT

当期は、新しい営業スタイルへの転換やDXを意識した業務効率改善を進め、コア技術製品の競争力強化や次世代に繋がる技術開発、SDGsを意識した取り組みを推進し、また部品調達難に対処するためにサプライチェーン最適化の取り組みを継続してまいりました。売上高は国内制御装置関連事業では2部門増収、1部門減収でしたが、前連結会計年度比1.8%減収となりました。利益面では、販売価格の適正化や原価率の抑制に努めました。原価改善には至らず、継続的な業務改善活動を行い間接経費の更なる削減に努めたものの、営業損失となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純損失は280百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



POINT

当期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ27百万円減少し、1,626百万円となりました。営業活動の結果使用した資金は、税金等調整前当期純損失に加え、棚卸資産の増加などにより427百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得などにより113百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の調達による増加などにより496百万円となりました。

技術継承の見える化と 属人化の解消

変圧器事業部
技術部長 兼 技術課長 **吉村 佳**

「変圧器はなくなる」が入社の動機

大学院で超伝導を用いた電力送電を学ぼうと考えていた矢先に父親が倒れるというアクシデントが。就職を決断したものの当時は就職氷河期。学んだ電気工学を活かせる道を探り、「電力関連の変圧器は、なくなるんだろう」と東洋電機への入社を決めました。

入社時から3年半は技術課で設計を担当。「営業もできるはず」との一声で4年半の営業も経験することに。幾度か訪ねた新規客先で「吉村さんからこの仕事を出す」と言われた喜びは今も忘れません。再び技術課に戻ると、お客様の声に直に接した経験が、深みとなって仕事に活かしました。入社12年目の2014年、「東京に出て営業支援をしないか」との話が。次女が誕生したばかりで迷ったものの、妻の後押しもあって東京へ。営業との二人三脚で新規開拓に奮闘する日々が。人生初の1人暮らしも、自分を鍛えてくれたと振り返ります。

若手を育てるためにできることを

変圧器一筋21年。この春、44歳の若さで技術部長兼技術課長に昇進しました。今、変圧器事業は太陽光発電、データセンター、電気炉向けが好調ですが、1点物が多く設計の負担は膨らむばかり。20～30代が多い技術課でいかに技術を若手に継承していくかが課題となっています。

かつて技術の習得では吉村さんも苦労しました。当時は教育資料も少なく、忙しい上司や先輩に聞きづらい状況でした。その反省から、部内の改善活動で「技術資料」や「個別客先仕様書」の作成に力を入れて技術継承と属人化の解消を図っています。また、社内で半年に1回開かれる「技術継承の見える化」発表会には、あえて若手を参加させ、人前で話す経験もさせています。勉強だけでなく実践を積まないと人は成長できないとの思いがあるからです。

技術課は、業務の改善提案で「年100件の改善提案」を目指し、3年連続達成中です。1人が最低月1件の提案を」と吉村さんが課員に呼び掛け、ようやく定着したのです。



吉村さんは35歳で「第三種電気主任技術者」資格への挑戦を決め、毎日2時間の学習で2年半かけて国家資格を取得しました。自らの学び直しも忘れていませんでした。

苦労を共にした仲間との友情を大切に

にこやかな吉村さんですが、学生時代に経験した警備員のバイトがリーダーシップの原点だと語ります。パブルがはじけた当時、割りのいいバイトは少なく、ナゴヤドームやスーパーの開店時の交通誘導などにかり出される警備員のバイトに明け暮れました。4年生になると10人から15人をまとめる隊長役にも抜擢されました。奥様はバイト時代の友人でした。今も当時のバイト仲間7～8人と家族ぐるみの付き合いが続いています。

ただ、悩みに1つだけ触れると、体重の増加だけが気掛かりのようです。余裕のあるときは週に3回、10キロくらいを走っています。その後、スーパー銭湯で汗を流し、自宅で奥様と晩酌することで、ストレスを発散し、英気を養っています。

会社の概況		(2023年3月31日現在)
商号	東洋電機株式会社	
設立	1947年(昭和22年)7月	
資本金	10億3,708万円	
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156	
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39	
営業所	東京、名古屋、大阪 東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市) 東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市) 東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)	
関係会社	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市) Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリー県)	
主要取引銀行	商工中金、百五銀行、三井住友銀行、名古屋銀行	
従業員数	個別:196名 連結:393名	

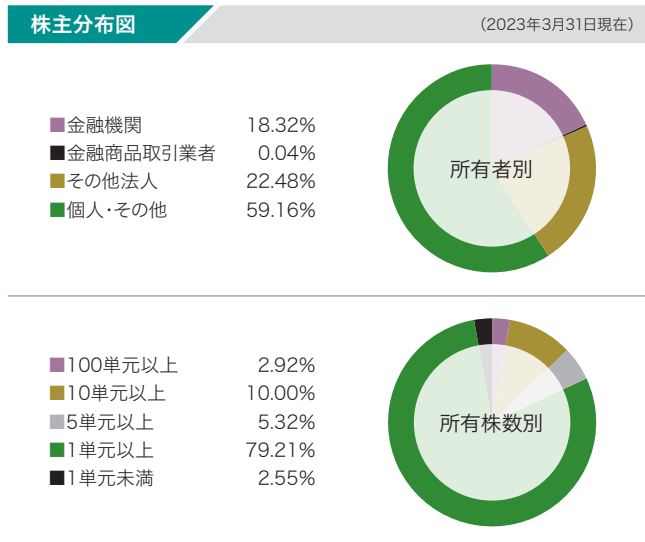
役員		(2023年6月23日現在)
代表取締役 社長執行役員	松尾昇光	
取締役 常務執行役員	井澤宏	
取締役 常務執行役員	加賀美孝	
取締役(監査等委員)	加藤茂男	
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩	
取締役(監査等委員)	井上誠	

(注) 取締役 葛谷昌浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式の概況		(2023年3月31日現在)
発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)	
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式431,259株を含む)	
株主数	2,160名	

大株主			(2023年3月31日現在)
株主名	持株数	持株比率	
有限会社城西	430千株	10.09%	
東洋電機取引先持株会	359千株	8.42%	
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.45%	
東洋電機従業員持株会	202千株	4.74%	
株式会社百五銀行	195千株	4.57%	
松尾隆徳	173千株	4.06%	
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.39%	
松尾昇光	139千株	3.27%	
日本生命保険相互会社	125千株	2.93%	
三浦陽子	111千株	2.61%	

(注) 持株比率については、自己株式(431,259株)を控除して算出しております。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 メイン市場(コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	https://www.toyo-elec.co.jp/

ご 注 意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<https://www.toyo-elec.co.jp/> 東洋電機 検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

